

平成29年度 第2回 堺市立図書館協議会 会議録

開催日

平成30年3月30日（金）午後1時から3時

場所

堺市立南図書館 ホール

出席委員

常世田良会長、平野祐子副会長、中辻道雄委員、飛石隆男委員、
脇谷邦子委員、吉田マリ子委員、山中浩之委員、森美由紀委員
(欠席：寺田孝志委員)

事務局

松井中央図書館長、前川中央図書館副館長兼総務課長、
浦部参事（企画・調整担当）、赤嶺総務課長補佐、
吉田中図書館長、成清東図書館長、中川西図書館長、
辻野南図書館長、杉田北図書館長、六車美原図書館長、
白川主幹兼企画情報係長、竹田主幹兼図書館サービス係長、
堀口管理係長、山内企画情報係主査、亀坂企画情報係職員

傍聴

1名

内容

会長・副会長の選出
案件

- 1 平成30年度図書館予算について
- 2 図書館評価について
- 3 その他

開会宣言・会議の成立

会長・副会長選出

- ・堺市立図書館協議会規則第2条第1項に基づき、出席の委員の互選により、堺市立図書館協議会第18期会長に常世田委員、副会長に平野委員を選出

傍聴の許可

会議録署名委員の指名

- ・森委員、中辻委員を指名

案件1 平成30年度図書館予算について

⇒事務局

資料1-1に基づき、平成30年度図書館予算について説明。

●（委員）

ふるさと納税の収入金が予算には反映されているのか。

⇒事務局

ふるさと納税による収入金は昨年度と同額の百万円を見込んでいる。今年度もそれに対する歳出予算として百万円が資料費に計上されている。

●（会長）

全体的な物価上昇があるため楽観視はできないが、全国的な資料費の減少傾向の中で増額というのは評価できる。

案件2 図書館評価について

⇒事務局

資料2-1、2-2に基づき、平成28年度 堺市立図書館サービス評価（案）について説明。

●（会長）

委員それぞれが評価し、集計するというのは他にない試みである。その成果については検証してもらいたい。また、資料2-1 項目2「市民の生涯学習の場として、さまざまな学習機会を支援します。」については団体に対する活動支援に対する指標と、開催したイベントに対する指標が混在している。整理が必要ではないか。

●（副会長）

資料2-1 項目3「快適な利用空間の提供につとめます。」については指標がまだ提示されていないので、この協議会の場で各委員の意見をもとにまずは指標を作成する必要があるのではないか。

●（委員）

資料2-1 項目4「地域の情報を収集・保存・提供し「歴史文化のまち堺」の発信と継承に貢献します。」について、堺市歴史文化市民講座など、資料2-1 項目2と重なっている指標があるのではないか。

⇒事務局

資料2-1 項目2の中で「市民との協働事業実施回数・延べ参加人数」として講演

会等の延べ参加人数を計上しているが、その中から地域資料に関する講座等を抜き出し、あえて講座参加者満足度という違う指標の取り方をしている。

●（委員）

資料２－１ 項目４の中に「マイクロフィルム化・デジタル化したコンテンツ数」が指標にあげられているが、単年度でマイクロフィルム化等を行った数ではなく、トータルで今までマイクロフィルム化等を行った数をあげた方が良いのではないか。

●（委員）

資料２－１ 項目４の中で「堺の歴史文化に関する資料や市政情報」とあるが、「市政情報」とは何を指すのか。

⇒事務局

この市政情報というのは、市政全体の様々な情報のことである。例えば図書館では、市の広報誌等を収集し保存、提供しているが、指標として具体を明示できるところには至っていない。

●（委員）

青少年サービスについての指標がないため、今後検討してもらいたい。

案件３ その他

資料３－１、３－２、３－３に基づき意見聴取。

●（委員）

資料には平成３０年第１回市議会の情報がないが、議論していくべき問題も多く出ている。なるべく早く情報提供してもらいたい。

次年度予定

次年度の堺市立図書館協議会については委員意見交換会を含め年６回、年間スケジュール（案）をベースに開催したい。また、会場は従来の中央図書館だけでなく、堺市内各図書館でも開催したいと考えている。

会長による閉会宣言

以上